実践例　鹿沼市立北犬飼中学校

教科・科目等　技術家庭科（３学年　27 名）

本時の目標

高齢者について理解するとともに、 よりよい関わり方を工夫できる。

育てたい資質・能力等

高齢者がよりよい高齢期を過ごすためにどのような関わりができるか、高齢者の人権の視点から考えることができる。（判断力）

教材　・教科書　・内閣府調査資料「第９回高齢者の生活と意識に関する国際比較調査」
・ワークシート

展開

●高齢者について、知っていることについて意見交換する。また、家族や親戚など身の回りの高齢者と関わったことはあるか確認する。
●高齢者の身体的特徴には個人差があり、多様で複雑であることを知る。
●自分はどのような高齢期を過ごしたいかを考える。
●高齢期も多様であり、生き生きと生活している高齢者を紹介する。（趣味や仕事、生きがいをもち続ける姿、登山を楽しむ姿）
●高齢者の社会活動への参加状況や日常生活で支援が必要な高齢者の資料から高齢者に関する課題を知る。
●誰もが幸せに自分らしく生きる権利があることを知る。
●一人一人の高齢者がよりよい高齢期を過ごすためにはどのような関わりができるか高齢者の人権を踏まえて考える。
●地域の一員として、高齢者を含めた多くの人との関わりがその生活をより豊かなものにしていくことを理解する。

板書

学習の様子